

2012年1月30日

掛川市会議員の皆さまへ

(注：この手紙は、全議員の皆さまにお渡ししているわけではありません。
STOP! 浜岡原発のブログでご紹介するにあたり、手紙の宛名は「掛川市会議員
の皆さまへ」としています。)

いつも掛川市民のためにご尽力賜り、ありがとうございます。

さて、同封いたしました掛川市の若いお母さんたちが掛川市に提出した、「被災地の瓦礫受け入れに関する質問とお願い」をご一読いただければ幸いです。

島田市で起きている瓦礫受け入れ問題は、放射能の危険性以前に、福島第一原発事故後、「安全だと主張しながらも食品に含まれる放射線量の暫定基準値が厳しくなったこと」、「SPEEDIの情報を米軍には伝えたけれど、国民には伝えなかった」など、正しい情報を市民に伝えてこなかった行政への不信感が根底にあるのではないかと、私は思っています。従って正しい情報が公表されることが、行政の信頼回復に繋がるのではないかと思います。

「質問とお願い」の文書を市に提出したお母さんたち、そして私も、瓦礫処理作業にあられる職員の方々、子どもたちそして環境への安全が確認されるのなら、被災地の瓦礫受け入れについては反対していません。

「質問とお願い」を市に届けたお母さんたちの話によると、環境課の職員の方が、時間を取り丁寧に対応して下さい、また後日、質問への回答をして下さいともお約束して下さいだったので、とても嬉しかったそうです。

給食の食材の放射線量測定、40歳以下の市民のためのヨウ素剤の購入など、掛川市の対応には、本当に感謝をします。

私たちは、掛川市会議員、市職員の方々皆さんが、市民の意見を聞いて下さり、また子どもたちのために動いて下さっていることに、大変感謝しています。掛川市に住んで良かったと、日々感じています。

今後とも市民のためにご尽力いただけますよう、改めてお願い申し上げます。
まだまだ寒い日が続きますので、どうぞご自愛下さいませ。

戸倉由紀枝 090-4401-8774